

令和2年度 第4回 下野市立南河内小中学校設立準備委員会実務作業部会
総務部会 議事録

審議会等名 令和2年度 第4回 下野市立南河内小中学校設立準備委員会実務作業部会総務部会

日時 令和2年11月9日(月) 午後6時00分～午後6時55分

会場 南河内中学校 会議室

出席者 高山信夫 部員、伊澤行雄 部員、川俣達夫 部員、谷萩昌道 部員、海老原剛 部員、澤野辰徳 部員、五月女恵子 部員、横島絹子 部員、小林幸代 部員、海老原忠 部員、竹田昌彦 部員、倉井典子 部員、近藤善昭 部員、田澤孝一 部員

【欠席部員】 館野 勝 部員、塩沢建樹 部員、

市側出席者 (事務局) 森口哲二 学校教育課主幹、土田礼巳 同課主幹兼指導主事、水本百合子 同課主幹兼指導主事、上野保久 同課小中一貫教育統括コーディネーター

公開・非公開別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

議事録(概要) 作成年月日 令和2年11月10日

1 開会

2 部会長挨拶(海老原部会長)

皆さんこんばんは。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。暗くなってきてよく見えませんが、この敷地内も子どもたちの絵などが壁に描かれるなどして、開校に向けての工事が進んでいるところです。

われわれのこの会議も、完成目指して進めていきたいと思います。今日もいくつか議題等が提出されております。ご審議いただいてよりよい検討ができればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

3 報告

(海老原部会長) それでは、(1) 設立準備委員会・推進協議会での協議結果について、事務局より説明をお願いします。

(森口主幹) [資料1：設立準備委員会・推進協議会での協議結果について説明]

[資料1-1：校歌について説明]

[資料1-2：校章について説明]

(上野CO) [資料1-3：制服・運動着・名札・上履きについて説明]

(森口主幹) [資料1-4：閉校に係る予算について説明]

(海老原部会長) ただ今、事務局より報告と検討事項について説明がありましたが、まず、校歌について確認してまいりたいと思います。まず、今回改編の「ああとわにみなみかわちわがぼこう」、この一行の文字の使い方、つまり、「ああ」「永遠」「わが」「母校」の漢字とひらがなの文字の使い方について、確認したいと思います。

「ああ」については、校歌ができたときの資料が「あ」を二つひらがなに

なっていたので事務局の方で「ああ」としたということですが、いかがでしょうか。

(賛同の声)

では、「ああ」はそのままひらがな二文字にしたいと思います。

次、「とわに」は「永遠」と書いて「とわ」は、いかがですか。音楽の先生方の提案の時も「永遠に」という意味を込めて「とわに」と読ませるということでしたが、よろしいですか。

(賛同の声)

「わが」は、いかがですか。漢字で続きにならないようにひらがなでということですが、いかがですか。

(賛同の声)

「母校」は、漢字でよろしいでしょうか。

(賛同の声)

では、本部会では、「ああ 永遠に 南河内 わが 母校」と、事務局提案の文言の通りにしたいと思います。

もう一点、「むら」についてですが、今回提案にあった「村」を使うか、資料の欄外にある「邑」を使うかということですが、いかがでしょうか。

(高山部員)

私は「村」を使ってもらいたいと思います。なぜかという、もともと「村」であったものを、勝手に直したことが問題であると思うからです。最初に戻すべきだと思います。

(海老原部会長)

もともと使っていた文字に直すということですね。

(高山部員)

勝手に変えるということが通用するとなると、「太陽」を「ひ」と読むのを、わかりにくいから「日」にしてしまおうと、いろいろなことが変更可能になってしまいます。難しい読みの漢字も、ふりがなを振ってあればいいのだから、このままの漢字を使ってほしいと思います。

(川俣部員)

賛成です。校歌が作られた当初の文字に戻すべきだと思います。

(海老原部会長)

それでは、高山部員、川俣部員のおっしゃった、従来の「村」という文字に戻すということよろしいでしょうか。

(賛同の声)

次に、校章については、本部会の意見が推進協議会で承認されたということです。

では、制服・運動着等の中で通学帽についてですが、あの形自体が作れないということなので、今回、代替の通学帽が届きました。投票で第2位であったものの形で、リボンをはずした通学帽ということです。お手元に回されましたが、いかがでしょうか。

(川俣部員)

今、示された代替の通学帽と前回決定した通学帽とは、耐久性については同じくらいであるということですね。それならば、黄色という色の面からも、これでいいのではないかと思います。

(上野CO)

生地の方では前回決定した帽子より強いと思います。薬師寺小学校の通学帽と同程度だと思います。二つの帽子をお手元に回します。

(田澤部員)

製作できない、いきさつを話してください。

(上野CO)

決定した帽子の黄色ができないということだったので、ではあの黄緑色

であったらできるのかと問い合わせたところ、決定した帽子は、特注に近いものであり、白布に好みの色を着色するので、大量の布(長さ6反)を準備することになり、その布で4、5年分を一度に作るので、4、5年は変更無しで願いたいということでした。その色も「黄色」が無く、加えて、現在その帽子は、ポリエステル100%で通気性が悪いので、苦情が入っている状況であるということです。また、硬いつばの芯を作れる職人が一人しか居らず、新規の客は受けられないので、つばの部分は、代替で示した黄色の帽子のつばのようになるということです。あわせて、白布分は、客が購入しそこに着色するので、客の負担が増えるということです。業者からのサンプルということでお示しましたが、このような状況になってしまい、調査が不十分でした。申し訳ありません。

(田澤部員) 事務局の確認不足で、最初にお願したときと状況が変わって来てしまったということがありまして、せっかく皆さんにご検討いただいたものが、振り出しに戻ってしまった形になりました。申し訳ないのですが、もう一度ご検討いただいて、見た感じは代替の帽子の方は条件に合っていて大丈夫かなと思いますので、その方向でいけばいいのか、それとも、別のものに変更した方がいいということであれば、また、サンプルを取り寄せて検討するということになるかと思います。どうぞよろしくお願します。

(海老原部会長) 事務局の方でも調整はしてくださったのですが、このような状況になってしまったということです。私見ですが、私は、高学年の児童がこの黄色の通学帽をかぶりたがらないのではないかと、ずっと気にかかっていました。皆さまどうでしょうか。ただ、安全面からするとやはり黄色がいいとは思いますが。

(川俣部員) 吉田西小学校の児童は、6年生でも黄色い帽子をかぶっています。

(高山部員) 私は黄色の帽子にすべきと思います。理不尽に見えても、通学時の安全性を第一にしているのだから、子を持つ親としては、「嫌でも、かぶれ。」と言いたいです。ちなみに、丈夫であるかどうかだけではなく、電気を消して、その帽子の視認性も確認していただきたいと思います。薄暮時の視認性を確認して欲しいと思うからです。

(電気を消して視認性を確認する。)

(倉井部員) 薬師寺小の帽子で、昔は黄色だったように思うのですが、現在の通学帽に替わったときのいきさつが知りたいです。

(海老原剛部員) 私は、小学校の時に黄色い帽子をかぶっていました。途中で現在の帽子に替わったと思います。黄色い帽子を6年生までかぶりましたが、あまり違和感はありませんでした。

(高山部員) 私も、子どもの頃黄色い帽子をかぶりました。

(海老原部員) 男の子はキャップ型にするのはどうですか。

(海老原部会長) 通学帽の形状は、これまでの会議でハット型にするということになっています。

(五月女部員) 私は、現在の薬師寺小のものがよかったのですが、この帽子でもよいかと思います。

(海老原部会長) それでは、形は変わりましたが、総務部会としては、代替の通学帽でよいということによろしいですか。

(賛同の声)

では次に(2)学校経営部会での検討状況について、南河内中学校の倉井校長先生から説明をお願いします。

(倉井部員) [資料2：学校経営部会進捗状況の報告についてについて説明]

(海老原部会長) ただ今、報告がありました。ご質問などはございますか。

報告事項は以上ですが、他に何かございますか。

(近藤部員)

南河内小中学校の建設工事等につきまして、ご報告します。南河内小中学校建設につきましては、ほぼ計画通りに進んでおり、その中で、低学年用プールにつきましてご報告させていただきます。基本設計の次に作成した実施設計策定の結果、低学年用プールは作らずに「ふれあい館」を利用することとしました。「ふれあい館」利用につきましては、屋内プールであるので、天候に左右されないこと。児童の送迎にはスクールバスが利用可能なこと。熱中症対策ができること。年間10時間の水泳指導であるので短期間ということ。このことから、「ふれあい館」がふさわしいということになりました。この方針に基づきまして、「利用学年」、「深さ」、「時期」等について、「ふれあい館」と協議しているところです。低学年のプールを「ふれあい館」を利用するという事は、地域・保護者説明会でも説明させていただきました。

(海老原部会長) ただ今報告がありました。ご質問などございますか。

(高山部員)

スクールバスで往復すると時間がかかると思いますが、その分、休み時間が減ってしまうということでしょうか。

(近藤部員)

1回のプール指導を、2時間続けて行うことで考えています。

(海老原部会長)

業間の時間が、多少移動の時間で削られることもあるかと思えます。では、議事に移ります。

2 議事

(1) 校旗について

(海老原部会長)

まず、校旗について、事務局より説明をお願いします。

(森口主幹)

[資料3：校旗について説明]

(海老原部会長)

ただ今、事務局より説明がありました。校章の決定を受けて、来年度早々に、校旗の作成に移る必要がありますが、予算の都合もありますので、刺繍やフレンジの種類は事務局にお任せするとして、地色について、皆さまいかがでしょうか。一般的には青・紺・赤・紫・緑が多いようで、資料の3枚目にカタログのイメージがありますが。何かご意見・ご質問等ございますか。

(川俣部員)

略式校旗と、校旗の色が違っているのはなぜでしょうか。

(上野CO)

略式校旗は、本来の校章の色でプリントされているのに比べ、校旗は、金色と銀色の単色の刺繍であるので、際立たせ方が違うのだと思います。

(田澤部員)

小学校には略式校旗はないのでしょうか。

(竹田部員)

あまり活用されていませんが、あります。本日急に提案されても、意見

がまとまらないと思いますので、次回、3小学校の略式校旗も持ち合
って、見比べて検討した方がよいのではないかと思います。

(高山部員)

校旗製作の会社に問い合わせ、どれが一番出ているのかを聞くと参考
になると思います。

(森口主幹)

時間的な余裕はありますので、竹田部員が言われたことを、先に事務
局で行い、詰められるところは詰めさせていただいて、事前にその資
料をお送りし、次回の会議の時に現物を見ながら、ご協議いただく
というのも可能だと思います。事前に資料をお送りできず、今日は検討
の初日という形ですので、ご意見だけいただければと思いました。

(海老原部会長)

竹田部員の言われるように、校旗については次回に送るということで
事務局はよろしいですか。業者の方にどの色が出ているのか、一般的
に多いのはどれかということも参考意見としていただいております。

その他、何かありますか。

事務局より何かありますか。

(上野CO)

〔令和2年11月18日(水)第1回南河内中学校区合同学校運営協
議会開催について説明〕

(海老原部会長)

新しい学校の学校運営協議会の組織作りも、この総務部会の所掌事項
でありますので、その状況を次回にご報告できるかと思います。その
他、何かございますか。それでは、本日の議題内容は以上になります。
活発なご議論、ご協力ありがとうございました。